

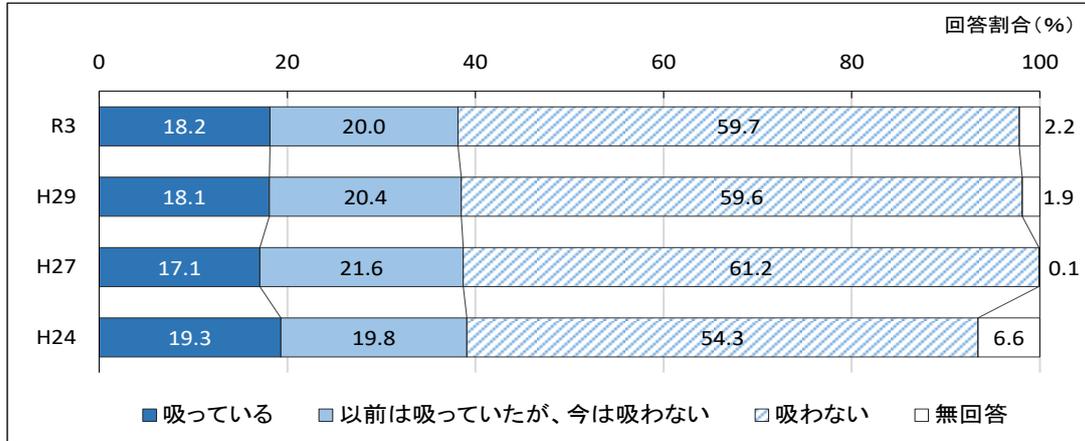
④ タバコについて

(22) 現在、タバコを吸いますか。

※「加熱式タバコ」を含みます。

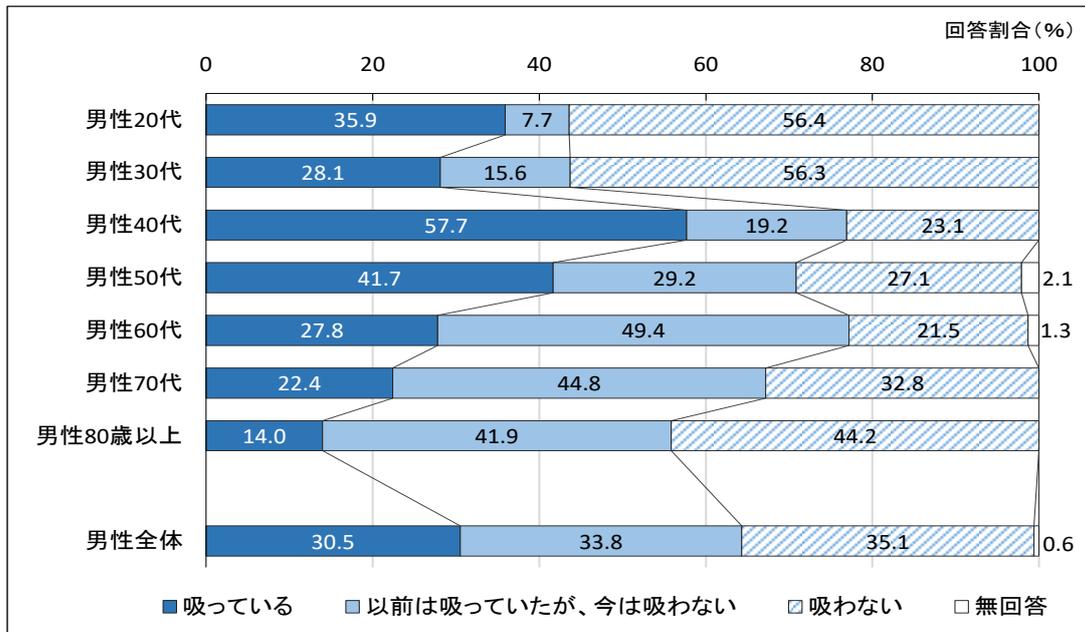
「吸わない」の割合が59.7%でもっとも高く、次いで「以前は吸っていたが、今は吸わない」が20.0%で続き、この2項目を合わせた『現在タバコを吸っていない』の割合は8割近くとなった。一方、「吸っている」の割合は18.2%となった。

前回調査と比べると、「吸っている」の割合は概ね横這いとなっており、禁煙が進んでいる様子は見られない。



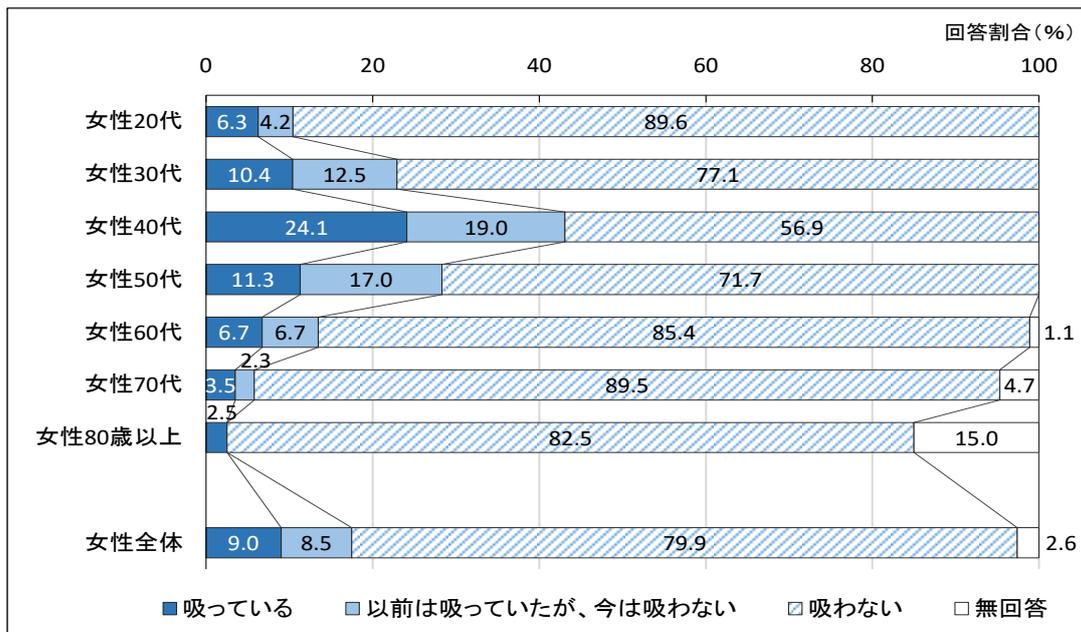
男性全体では、「吸っている」の割合が3割台、『現在はタバコを吸っていない』の割合が6割台となった。

年代別にみると、「吸っている」の割合は40代で5割台、50代で4割台と特に高くなっている。「以前は吸っていたが、今は吸わない」の割合は、50代で3割近く、60代以降の各年代で4割台と、50代以降で高くなっている。また、20代と30代では、5割を超える人が吸わないと答えており、若い人ほど喫煙しないことが分かった。



女性全体では、「吸っている」の割合が1割未満と低い割合となり、『現在はタバコを吸っていない』の割合が8割以上を占めた。

年代別にみると、「吸っている」の割合は40代の2割台がもっとも高く、その他の年代では1割未満から1割台と低くなっている。

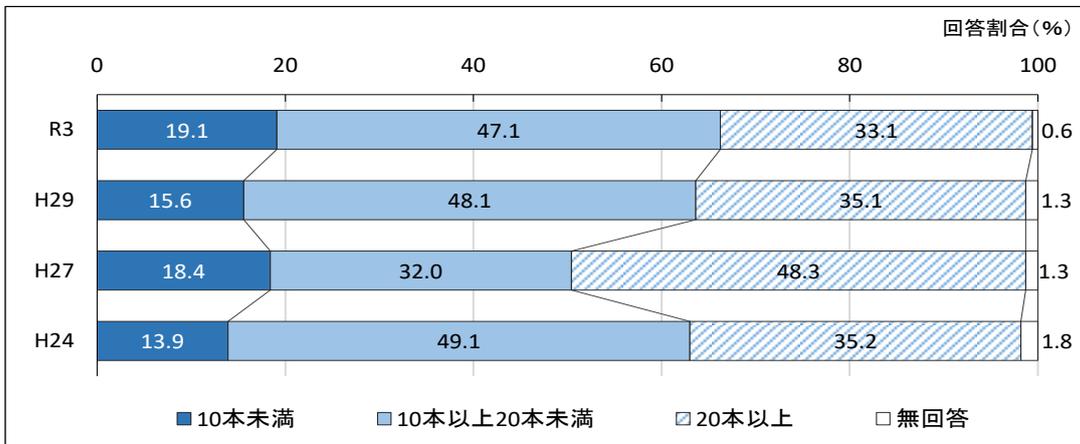


(23) (22)で「1. 吸っている」とお答えした方にお聞きします。
1日の平均喫煙本数はどのくらいですか。

※「加熱式タバコ」の場合は、「カートリッジの本数」としてください。

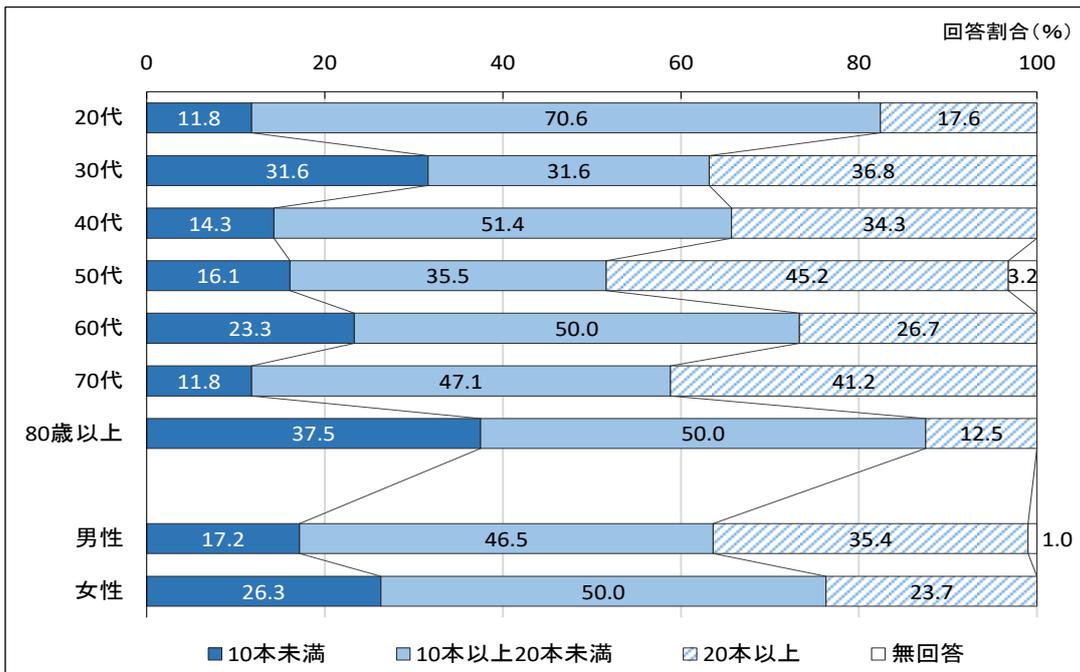
「10本以上20本未満」の割合が47.1%でもっとも高く、「20本以上」は33.1%、「10本未満」は19.1%となった。

過去調査と比べると、喫煙者の1日の平均喫煙本数は減少傾向にあると推測される。



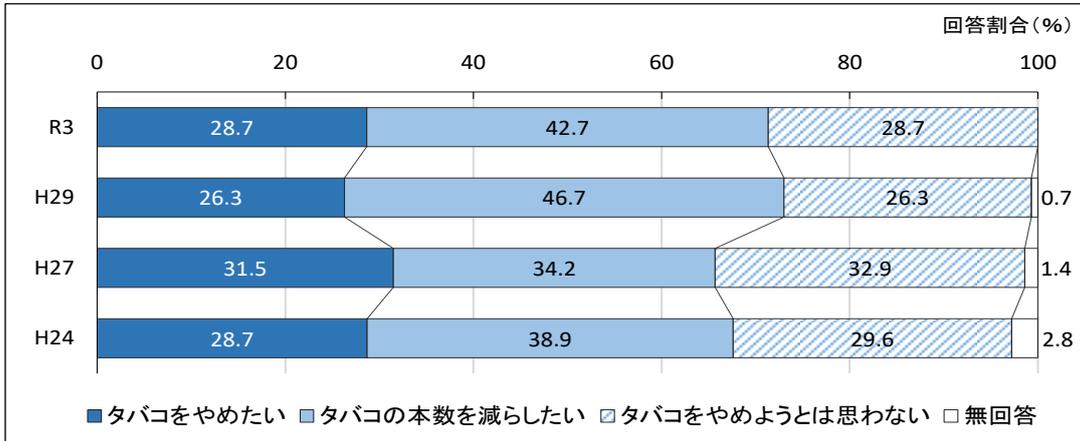
年代別にみると、30代と50代では「20本以上」の割合がもっとも高く、その他の年代では「10本以上20本未満」の割合がもっとも高くなった。

性別にみると、男女ともに「10本以上20本未満」の割合が高くなった。「20本以上」の割合は女性より男性が高く、男性の方が喫煙本数が多い傾向がうかがえる。

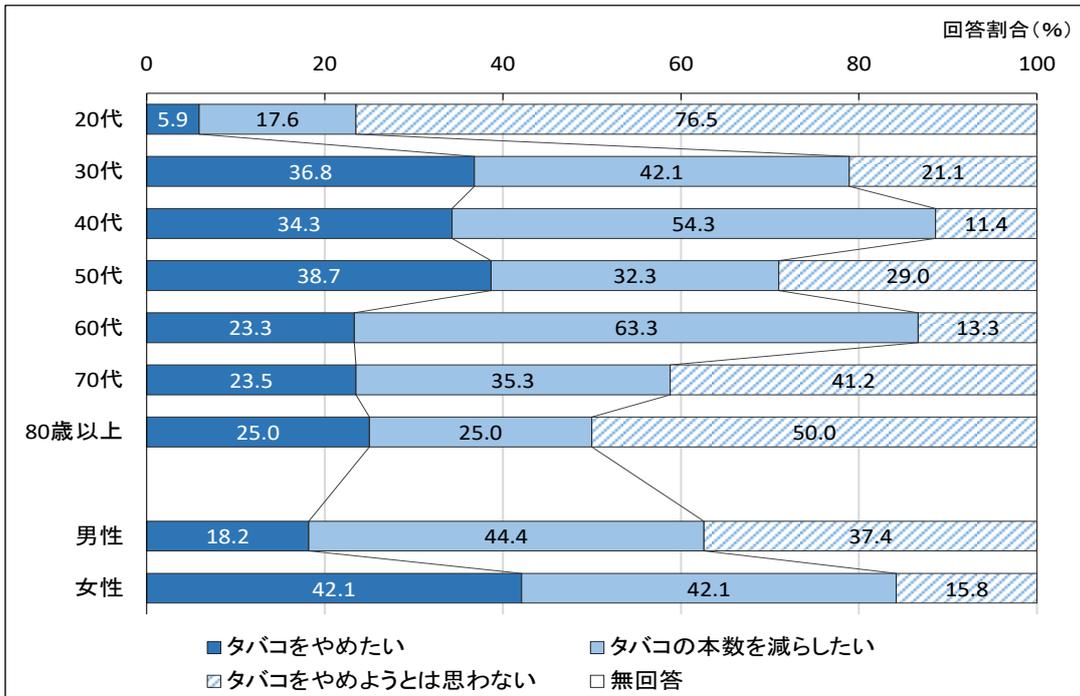


(24) (22)で「1. 吸っている」とお答えした方にお聞きします。
 今後の喫煙に対してどのように考えていますか。

「タバコの本数を減らしたい」の割合が42.7%でもっとも高く、「タバコをやめたい」と「タバコをやめようとは思わない」は各28.7%となった。
 前回調査と比べると、「タバコをやめたい」の割合は2.4ポイント上昇した。



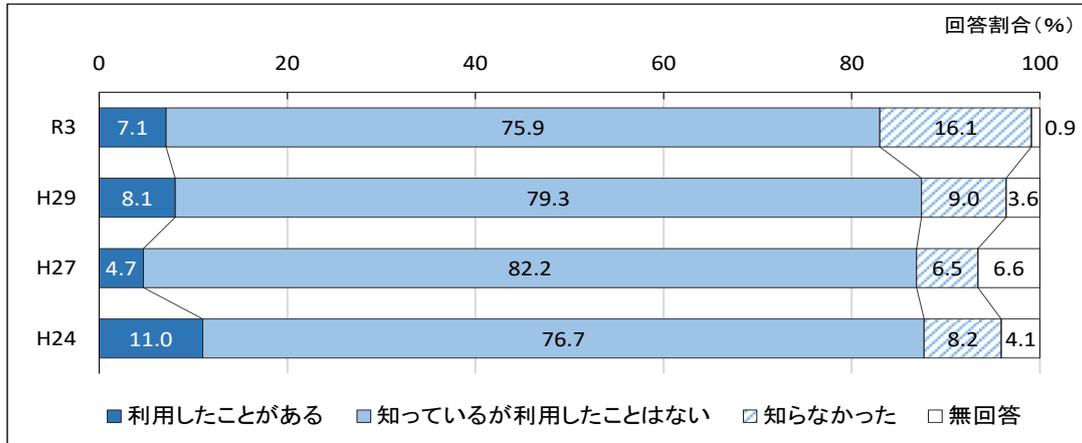
年代別にみると、「タバコをやめたい」の割合は20代では1割未満の低い割合となった一方、30代から50代までの各年代では3割台、60代以降の各年代では2割台となり、年代により違いが見られた。「タバコの本数を減らしたい」の割合は、60代で6割台、40代で5割台と高い割合となった。
 性別にみると、「タバコをやめたい」の割合は女性で4割台、男性で1割台と、女性の方で高い割合となった。また、「タバコの本数を減らしたい」の割合は男女ともに4割台となった。



(25) (24)で「1. タバコをやめたい」「2. 本数を減らしたい」とお答えになった方にお聞きします。禁煙教室や禁煙外来というものを利用されたことはありますか。

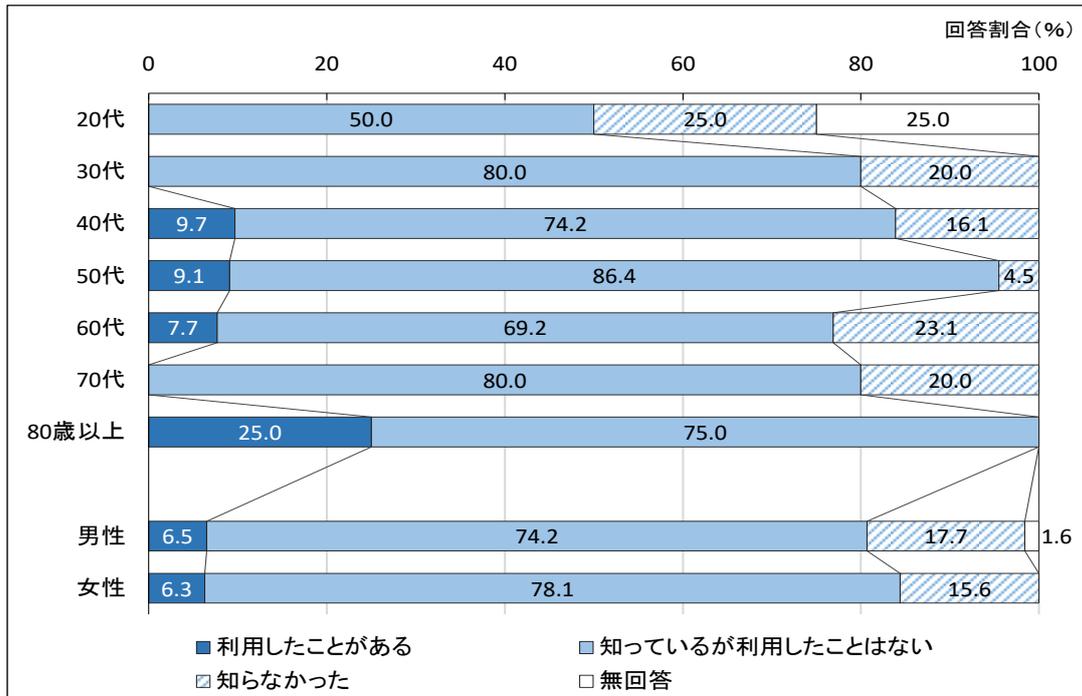
「知っているが利用したことはない」の割合が75.9%を占め、これに「利用したことがある」(7.1%)を合わせた『禁煙教室や禁煙外来を知っている』の割合は83.0%と高い割合となった。一方、「知らなかった」は16.1%となった。

前回調査と比べると、『禁煙教室や禁煙外来を知っている』の割合が低下し、「知らなかった」の割合が上昇していることから、周知方法の工夫や見直しが必要であると考えられる。



年代別にみると、「知っているが利用したことはない」の割合が30代、50代、70代で8割台となるなど、すべての年代で5割以上を占め高い割合となった。

性別にみると、「知っているが利用したことはない」の割合は男女ともに7割台となった。

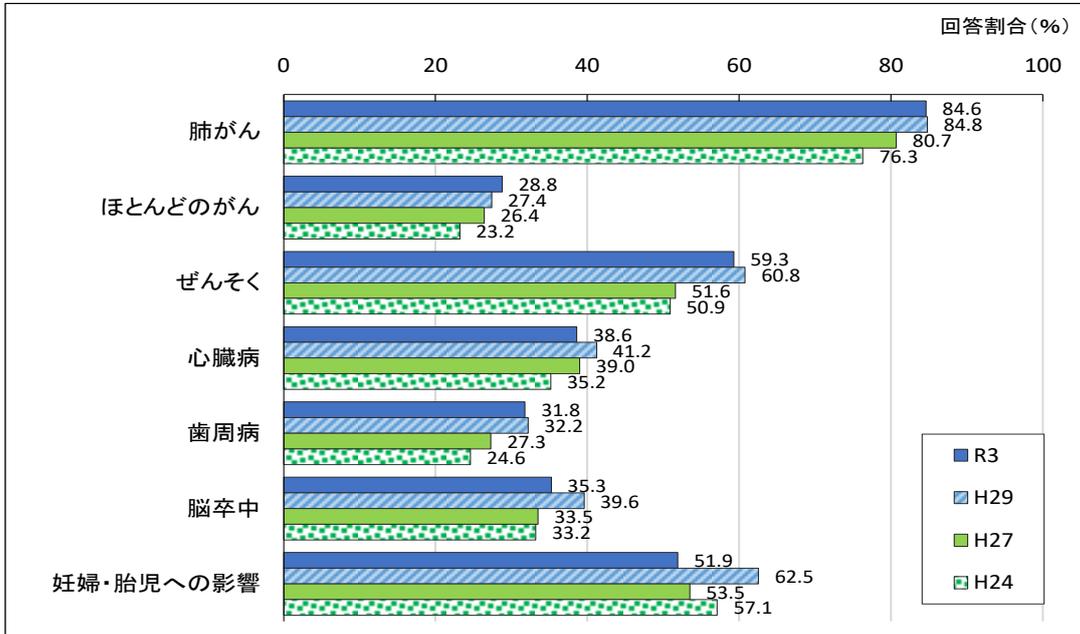


(26) タバコが影響していると思うものに○を付けてください。(複数回答可)

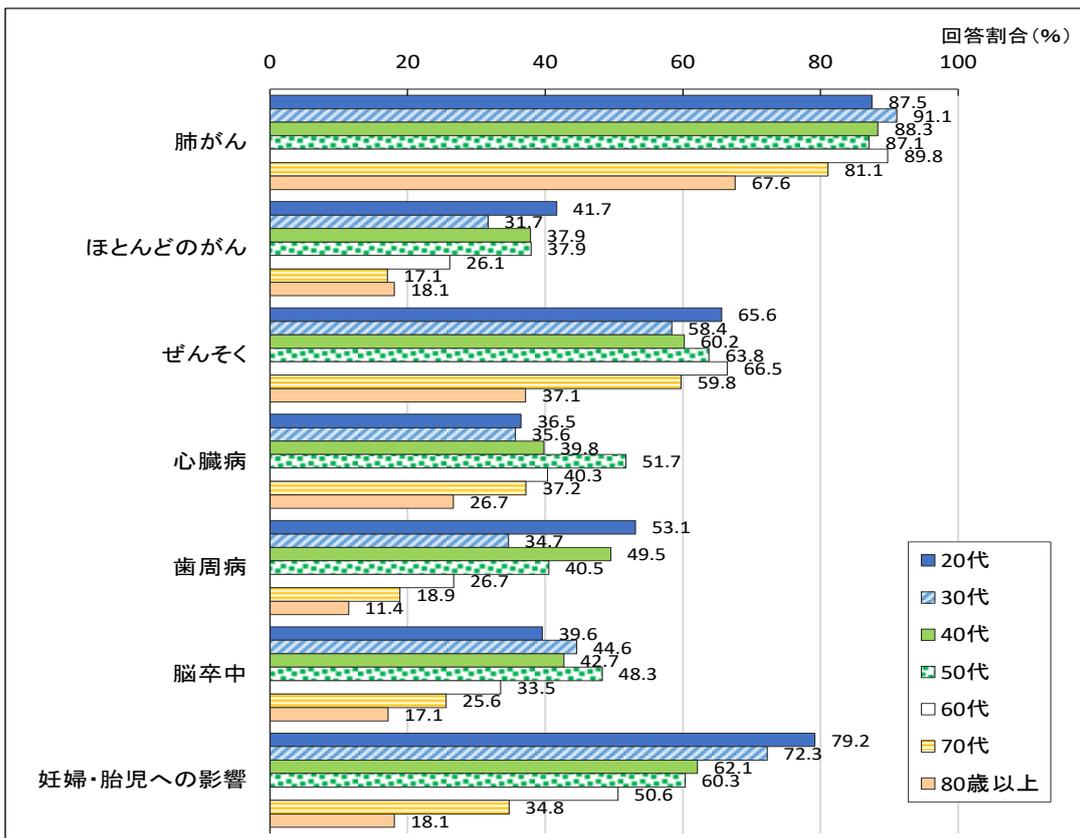
(注)タバコは、質問項目の全てに影響を与える。

「肺がん」の割合が84.6%と突出して高く、これに「ぜんそく」(59.3%)と「妊婦・胎児への影響」(51.9%)が続いた。以下は「心臓病」(38.6%)、「脳卒中」(35.3%)、「歯周病」(31.8%)などの順となった。

前回調査と比べると、「ほとんどのがん」を除く6項目で割合が低下した。



年代別にみると、すべての年代で「肺がん」の割合がもっとも高くなった。また、20代から60代までの各年代では「妊婦・胎児への影響」、「ぜんそく」の割合も高くなった。

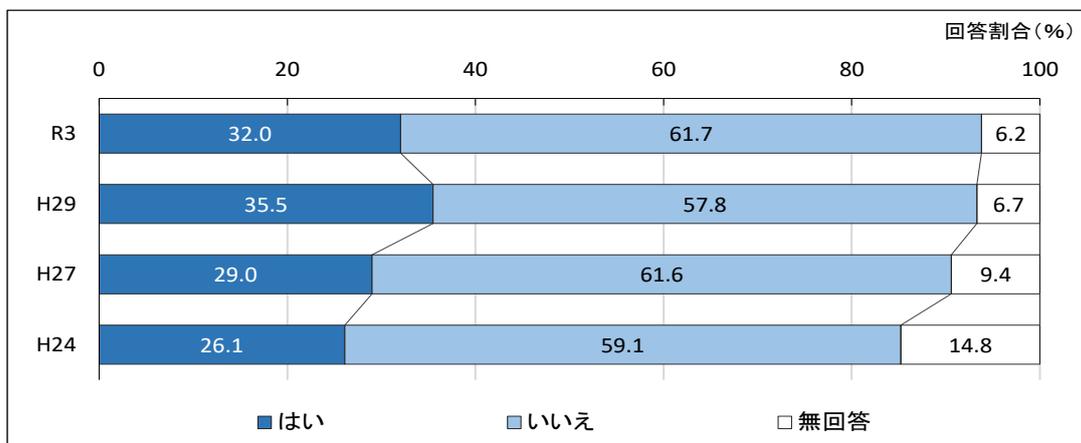


(27) COPDを知っていますか。

(*)たばこの煙などの有害物質を長期に吸入することで起こる、慢性閉塞性肺疾患

「いいえ」の割合が61.7%を占め、「はい」(32.0%)を上回った。

前回調査と比べると、「はい」の割合は3.5ポイント低下しており、これまでの上昇傾向には後退感がうかがえた。



年代別にみると、すべての年代で「いいえ」の割合が「はい」の割合を上回った。「はい」の割合は60代までの各年代では3割台から4割台となり、70代以降の年代に比べてやや高くなった。

性別にみると、「はい」の割合は女性で3割台、男性で2割台と、女性の方が1割ほど高く、女性の方が認知度が高いと推測される。

